

令和6年度 事業報告

社会福祉法人創英舎

浄蓮寺保育園

□ 施設区分 浄蓮寺保育園

① 職員配置 30名

園長 1 主任保育士 1 保育士 17(内7名は非常勤) 保育補助 1 (非常勤)
栄養士 1 調理員 3 (非常勤) 事務員 2 バス運転手 1 バス乗務員 1
用務員 2

② 年間入所児童数

4月	65名
5月	65名
6月	65名
7月	66名
8月	69名
9月	70名
10月	70名
11月	71名
12月	73名
1月	74名
2月	74名
3月	74名

③ 指導監査の結果 (令和5年度事業に係る監査の結果)

(令和6年12月9日 福岡県・直方市)

福岡県 児童処遇 特になし

施設運営 退職者の労働者名簿に退職の年月日及びその事由についての
記載漏れ

保育所経理 利用者からの現金徴収の延長保育料が収入後10日営業日
以内に金融機関に預け入れられてない事例があった

直方市 児童処遇 事故報告書の一部記載漏れ

児童処遇 災害時の避難確保計画の子ども育成課の電話番号が
旧電話番号のままだった

施設運営 特になし

安全管理 特になし

給食施設栄養指導 特になし

④ 要望・苦情に関する報告

令和6年度の苦情解決状況について

苦情・第三者への申し立てはなかった。

⑤ 基本方針と保育方針

保育所保育指針に沿って 創造保育の理念に基づいた保育実践を行っている。

⑥ 主な行事等

月	日	内容
4月	1日	入園式・進級式・クラス懇談会
	2日	チューリップ園行き（きく組・すみれ組・ひまわり組）
	17日	歯科検診
	18日	内科健診
5月	9、10、16日	尿検査
	11日	親子遠足
	13日～25日	個人面談
	17日	到津動物園行き（すみれ組・ひまわり組）
	30日	乗馬クラブ行き（すみれ組）
6月	17日～21日	保育園開放日
	29日	卒園児 カレーパーティー
7月	2日	花公園 種まき（すみれ組・ひまわり組）
	5日	星まつり
	9日	プール開き
	23日	花器づくり（ひまわり組）
8月	5日～9日	保育園開放日
	19日	植木こども園合同保育
	23日	植木こども園のプール行き
	31日	夕涼み会
9月	4日	キャンプ説明会
	6日	水中サーカスショー
10月	12日	保育参観・給食試食会
	23・24・30日	尿検査

11月	1日	九州管弦楽団による音楽コンサート（ひまわり組）
	2日	おまつり運動会
	11日	到津動物園行き（すみれ組）
	13日	直方の杜 慰問（ひまわり組）
	14日	花公園ネモフィラの種まき（すみれ組・ひまわり組）
	25日	行者杉行き（ひまわり組）
	28日	内科健診
	30日	女性消防団
12月	4日	歯科検診
	6日	チューリップ球根植え（すみれ組・ひまわり組）
	24日	クリスマス会
	26日	餅つき
1月	18日	造形展
	21日	卒園記念品作り（ひまわり組）
	20日～2月1日	個人面談
	31日	豆まき
2月	22日	生活発表会
3月	4日	交通安全教室
	6日	卒園記念写真撮影
	11日	新入園説明会
	14日	お別れ会
	22日	卒園式
	25日	お別れ遠足・いのちのたび博物館（ひまわり組）
	26日	修了式
	27日	虎尾桜行き（すみれ組・ひまわり組）

毎月 避難消火訓練
誕生会
4、5歳児お花生け
卒園児（学童の部）お花生け
4月、5月、10～3月 愛情弁当

⑦ 職員研修報告 保育の質と人材の強化

○福岡県

福岡県保育所等運営管理研修
保育における安全管理について
保育士会研修
新任保育士研修
熱中症予防指導員研修
感染症予防研修
給食研修会（zoom）
食中毒予防研修
不適切保育の防止に関する研修
発達障害支援研修
アンガーマネジメント研修
園長研修

○ 筑豊地区

保育事業研究大会
主任保育士研修
感染症予防対策研修

○ 直方市

主任研修
幼児教育講習会
一般教養研修会
特別支援教育
人権問題研修

○ キャリアアップ研修

マネジメント研修
乳児保育
障がい児保育
食育・アレルギー対応
保健衛生・安全対策
保護者支援・子育て支援

○ 救命講習会（直方市消防署）

○ 九州保育三団体研究大会（熊本県大会）

○ 園内研修

職員会議・・・毎月
各クラスの保育及び子どものことについて話し合う
給食会議・・・毎月
食育について話し合う

○ 保育内容についての園内研修

創造保育の理念研修
職員会議の時に保育の流れ、又はごっこ遊びについての話など行う

⑧ 安全管理・衛生管理について

- ・消火避難訓練 毎月1回実施
- ・水害訓練・地震訓練・不審者防犯訓練 各 年1回ずつ実施
- ・遊具チェック 毎週 1回実施
- ・消防用設備等自主点検 毎月 1回実施
- ・乳児用室内遊具 週末 又は適時に洗濯
- ・アレルギー対応の園児の食器・トレイは 視覚的に区別できるように配慮している
- ・午睡チェックは、0歳児 5分、1歳児 10分、2歳児、15分おきに必ず目視する

⑨ 健康管理について

- | | | | |
|-----|-------------|--------------|--------|
| ・園児 | 内科健診 | 4月18日・11月28日 | 年 2回実施 |
| | 歯科検診 | 4月17日・12月4日 | 年 2回実施 |
| | 尿検査 | 5月・10月 | 年 2回実施 |
| | 身長・体重測定 | | 月 1回 |
| ・職員 | 健康診断 | | 年 1回 |
| | 給食・乳児担当職員検便 | | 月 1回 |

⑩ 栄養管理について

- ・栄養アセスメントによる献立構成（園児の身長・体重の変化による）
- ・食育計画の作成・実践（収穫した野菜を調理・食育についての紙芝居等）

⑪ 安全・災害対策について

- ・飲料水の貯蔵
- ・食料品の貯蔵
- ・蓄電池

⑫事故の発生状況

NO.	年齢	発生日	時間	発生場所	事故内容	処置
1	4歳児	6月10日	10:30	園庭	雲梯にぶら下がり関節亜脱臼	整形外科を受診し関節を入れてもらった
2	4歳児	6月15日	10:45	園庭	蜂を触って刺された	刺された部分を顕微鏡で確認し薬を処方
3	5歳児	6月17日	10:00	園庭	鬼ごっこをしていて友達と衝突	氷で冷やして歯科を受診 異常なしとのこと
4	4歳児	6月19日	14:15	保育室	他児に米粒を入れた	耳鼻科で取ってもらう
5	4歳児	6月19日	14:30	保育室	保育士が腕を持ったため体を揺さぶる	整形外科受診 関節を入れてもらう
6	3歳児	9月9日	11:30	テラス	転倒して鼻の下を打つ	歯科受診 歯は異常なし 唇は腫れるだろうとのこと
7	5歳児	9月13日	14:00	下の広場	栗のイガが刺さる	整形外科を受診様子を見るようにとのこと
8	5歳児	10月29日	11:45	保育室	花笠音頭を踊っていて友達の花笠が目当たる	眼科を受診 眼薬を処方

9	4歳児	10月30日	14:30	園庭	平均台から落ちて足をくじく	整形外科受診 レントゲンを撮り骨には異常なしサポーターで固定
10	5歳児	11月13日	13:10	園庭	帽子をかけようとして転倒口を打つ	歯科受診 しばらく通院
11	1歳児	11月16日	11:00	保育室	椅子を持つようとして転倒顔を打つ	整形外科を受診 傷口をテープでとめる
12	4歳児	1月25日	8:20	保育室	走ってきてもおもちゃにダイブ顔を打つ	整形外科を受診 薬を塗ってもらう
13	4歳児	2月26日	9:00	テラス	走っていて転倒額を打つ	整形外科を受診 縫合してもらう
14	4歳児	3月7日	13:55	園庭	滑り台の階段で転ぶ	整形外科を受診 薬を塗ってもらう

⑬地域交流について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため しばらくの間見合わせていたが、老人介護施設からの要請もあり、慰問することができた。

お年寄りの方と手遊びをしたり歌を歌って聞いてもらったり、花笠音頭を見ていただいたりと 子どもたちにとって貴重な経験をさせていただいた。

⑭ 自己評価について・・・別紙

【評価の目的】

評価することで 保育士の専門性の向上と共に 保育園全体の質の向上を図る
保育士一人ひとりが 自己の保育を振り返り、基盤となる子どもへの理解を
深めることで、日々の保育実践の意味を考え 次への良い実践へと繋げていく。

【評価を通してみえてきたこと】

- どの項目も 十分わかる・できている 及び おおむねわかる・できている
との 自己分析をしている。また、具体的に取組んだり、気付いたことなど
かなり詳しく検証できていて、保育に対する真摯さが増してきたように
感じられる。

今後も子どもの姿（発達・情緒）をとらえ、保育を深めるための園内・
園外の研修を充実させていきたいと思う。

- 保育士は全員 「人権擁護のためのセルフチェックリスト」の記入も
行っており、保育者としての行動、子どもとの関わりを振り返る事で
新たな視点から自己を見つめ直し 子どもを尊重する保育を目指し、
その認識と理解を深めていくことに 努めている。

⑮ コドモンの活用について

コドモンにより 保育計画案及び保育日誌、また登降園管理や保護者との連絡、
保育の写真販売等 様々なことに活用し、保育士の仕事量も軽減でき
保護者との連絡もスムーズにいくようになったと思う。

事業報告総括

- 創造保育の理念に基づき、各年齢ごとのお話の世界で一年間の保育を展開し、その中で その気になって遊び、様々な経験をすることにより 子どもたちの想像性・創造性を育て 情緒豊かな人間力の充実した子どもへの成長・発達を促している。

そのための年齢ごとの理念研修、職員会議において日々の保育についての話等、今後もねらいをはっきりさせ、充実した内容の遊びを展開できるよう保育士全体で 研鑽を積み重ねていきたいと考える。

また、発達に問題があると思われる子どもも多数いるが、クラス担任だけでなく職員全員でどのように関わっていくか を常に話し合い、また現在療育機関に通園している子に関しては通所機関との連絡を取り、保育所訪問などの機会でも情報を共有してより良いサポートができるように努めている。

来年開設予定の 児童発達支援施設への移行も視野に入れ、子どものみならず保護者への支援も重視していきたいと思う。

今後も 保育士のみならず 職員全体の 報告、連絡、相談を密に行い、それぞれの持ち場で より職務を充実できるよう 連携していきたいと思う。

- 近年の気候変動により 大雨の日も多くなってきた。
6月28日には、市の要請により休園もした。今後も、風水害からの避難の可能性も考え、再度策定したBCPの確認もしていきたい。
- あまり大きな怪我はなかったものの（一件は傷口縫合）、病院に連れて行くことが多かったので 安全面に十分に注意しなければ と思う。
- 職員の確保については なかなか難しい状況ではあったが、チームワークで乗り切れてきたように思う。
- 保育園での子どもたちの様子を保護者にもよく知ってもらうためにも、保育参観以外に 保育園開放日を設けたり、夕涼み会や運動会にも保護者の手伝い・参加をお願いした。
また、日常の連絡ノートのやり取りや送迎時に話したりすることで保護者とのコミュニケーションを密にはかり **こどもまんなか** で子育てを楽しめるようなより良い環境を作っていきたいと思う。